



## 白球そして夢ひたすらに

市川市少年野球連盟

会長 中川 実

市川市少年野球連盟創設二十周年を迎えるに当たり、ご挨拶申し上げます。私は、長い伝統と歴史に輝く、市川市少年野球連盟の重責を担うことになりました。尊敬すべき、浮谷貞雄前会長の十数年にわたる献身的な貢献の輝きのあとを引き継ぎ、その連盟の基礎は、前会長をはじめ多くの役員の方々、そして地域の指導者・関係者のご努力により確立されてまいりました。

野球を通じての心身の研磨は勿論のこと、フェア精神と規律の体得と選手相互の親睦を図ることは二十一世紀を担う少年に対する大人たちの責務ではないかと思っています。

月日の経つのは誠に早いものです。昭和五十五年二月十七日に「市川市少年野球連盟」の発足から二十年の歳月、その間に米国はじめ中華民国（台湾）へ遠征して、国際交流の成果を上げると共に、各地域の野球を通じての青少年健全育成の体制を充実・発展させて参りました。

来るべき世紀に最も必要と言われています「ボランティア」活動とその精神は、各地域の少年達を直接指導されている方々の、その正に活動と精神により、すでに市川の少年達はその恩恵を受けて育てられ、新しい時代に連らなっていくものと信じております。

白球を無心に追い・競い合い、そして感動と感激を一人ひとりの胸に湧き起こしてきた世界は、大会運営をはじめとして多くの関係者と共に守り、発展すべき「聖地」でございます。

少年の頃の些細な感動体験が夢を育むエネルギーに変わっていく不思議さを信じて、球児達の流す汗と涙の中に、澄みわたる未来をしっかりと大きく描いていこうではありませんか。再びの挑戦です。あの松坂投手の熱投が社会現象の華に燃える、1999年でございます。

今日まで、ご尽力戴いた、市川市教育委員会、子ども会育成連絡協議会、青少年相談員連絡協議会、PTA連絡協議会をはじめとした諸団体の方々、また発足から企画運営に携わって下さっていただいたの方々、そして連盟の活動にご支援、ご賛助戴いた関係者の方々に厚く感謝申し上げますと共に、今後の一層のご理解を戴けますよう重ねてお願い申し上げます。



## お祝いのことば

市川市長

千葉光行

市川市少年野球連盟の創設20周年を心からお祝い申し上げます。日頃より中川会長さんをはじめ連盟の皆様には、少年野球を通じ青少年の健全育成にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。ここに厚くお礼申し上げます。

現在60を超えたチームが連盟に所属し、各チームとも頂点に立つことを目標にしのぎを削っていることと思います。毎年夏には全国高等学校野球大会が甲子園球場で開催され、白球を追う球児の熱きプレーに胸焦がされます。

プロはプロなりのテクニックとパワーで私たちに魅了させてくれますが、高校野球はプロとは違った魅力があり、溢れるような情熱を感じます。この姿に憧れ、甲子園を目指して野球に取り組んでいる少年たちはかなり多いと思いますし、先輩たちのプレーから自分なりに改善すべき部分を見いだすことは良いことです。確かに少年野球選手の皆さんには野球を通じて技術の習得や体力の増強を図っていただくことは大切なことですが、ただそれ以上に他人に負けない精神力や忍耐を養うこと、さらにはスポーツマンとしてのセンスを身につけることが重要であります。センスとは技術や適性のほかに判断力や礼儀・マナーを身につけ、正しい筋道をたてて行動することによって、礼儀作法は社会にでるための常識にもなりますので、監督やコーチの指導をよく聞いて実践していただきたいと願っております。

ところで市川市少年野球連盟は、平成6年と8年に米国のガーデナ市とお互い遠征しあって、交流試合を行ったと聞いております。それぞれ一週間くらいの滞在だったそうですが、国境を超えて野球を通じて国際交流を図ることは今の国際社会からして大変素晴らしいことあります。今後も一層交流を図り、親睦を深めていただきたいと思います。

終わりに、中川会長さんをはじめ市川市少年野球連盟の更なるご活躍をお祈り申し上げ、私のお祝いのことばといたします。

## 20周年を迎えて



市川市教育委員会

教育長 最首輝夫

市川市少年野球連盟設立20周年おめでとうございます。また、連盟関係者の皆様が、今まで少年野球を通してスポーツの普及・振興に大きく貢献されましたことに深く敬意を表します。

教育委員会といたしましても、子供たちの心と体の健康ということから、学校、家庭、地域社会が一体となった生涯スポーツの基礎づくりを目指す体育指導に取り組んでいるところでございます。

少子高齢社会の中、子供たちをとりまく生活環境の変化とともに、日常生活における身体活動の機会が著しく減少しており、子供たちの運動不足による体力の低下が懸念されております。

言い古された言葉ですが、「健全な精神は健全な身体に宿る」と申します。とりわけ、少年期より日常的にスポーツと親しむことは、生涯スポーツの基礎体力を育成するだけでなく、仲間との交流等を通じ人間形成にも多大な影響を与えるものと考えております。

貴連盟の設立の目的は「少年相互の親交」「フェアな精神の体得」「少年の健全育成」を掲げられております。野球はチームプレイであり、子供たちがゲームを楽しむ中で、一人一人がチームの一員として責任を果たすことで、社会人としての基本ともなりますチームメイトとの協調精神も自然と身につくのではないかと思います。

21世紀に向けて、これからも子供たちから大人まで多くの愛好者をもつ野球の普及にご尽力されることをお願いいたします。

終わりに、20周年を節目とし、市川市少年野球連盟の更なる発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます。お祝いのご挨拶といたします。

市川市教育委員会 最首輝夫

市川市少年野球連盟 会長 佐藤 隆夫

市川市少年野球連盟 20周年記念誌



## 連盟 20歳の青春をむかえて

市川市少年野球連盟

参与 小出 昭雄

市川市少年野球連盟は、1979年に混沌の中に誕生して、動揺の中で育ち、目鼻立ちの整った少年期を過ごしてやっと20歳の青春をむかえました。昔のベースボール少年達も「連盟とは共同の目的を達成するために互いに約束を結ぶこと、またその団体」と辞書に記されています。共同の目的、つまり野球少年の未来のために健全な成長を夢みることです。ボランティアの精神にあふれる大人達の目的に結ばれて、連盟と各地区のリーダーの方々の惜しまぬ努力と豊かな心によって、この20年が営々と支えられてきました。将来の発展のため、ますます人と人のつながりを大切にして、強固な連盟へと脱皮しようとしております。

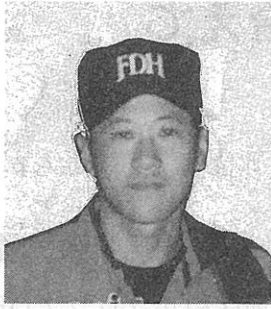
あの20年前の少数の善意ある人々の厚意にすがりながら、砂ボコリのたつ江戸川河川敷の球場で多くの野球少年達が、歯をくいしばり、時に歓声をあげながらの熱戦を展開しておりました。特に日陰のない夏の暑い日に乾ききった風の音とともに今でも鮮明に思いおこします。私はその光景をみていた時“このままでいいのか”と何か無念の思いが湧いてきて仕方ありませんでした。“市川の子ども達はこれで、幸せなのか”今は亡き尾崎石太郎さん、大富弘毅さん、村井源四郎さん等、一部の人々の熱心な、ご自分の年齢をもかえりみないで、炎天下の子ども達の夢を支えていらっじゃったあの現実。ありがたい。しかし、これでいいのか。市川の子ども達はこれでいいのか。

連盟の設立に流れている精神は、正に各地区のリーダーの人々の願いと、市内各界の先輩の方とのご理解により形づけられたものであり、誕生の灯がともされたと云えます。

その灯が、市川で最後の貴族 浮谷前会長により、そして今日、無垢のザ・ベースボールマン中川会長により引きつがれ、そしてこれより悠久の時の流れを疾駆しようとする輝きを感じとれます。

あの明治維新に活躍された勝海舟の時のように連盟を支える多くの方々が、潮の変わり目に浸りながら、大仕事した人は時勢が人にのりうつる魔性というべきもののあることを知ってほしいと願っております。

市川市少年野球連盟20周年を心より、お祝い申し上げます。



## 少年野球の思い出

97年ドラフト4位 福岡ダイエーホークス

投手 木村 茂

(第10地区市川アスナロOB)

市川市少年野球連盟創設20周年、誠におめでとうございます。  
少年野球OBとして、自分の少年野球時代の思い出を語らせてもらいます。

私が野球を本格的に始めたのは、小学校4年生の時、江戸川区西葛西から市川市に引っ越し  
て来た時からになります。

学校へ通って一週間と経たない頃で、未だ友達も少なかった私に同級生から「《アスナロ》  
という少年野球チームで一緒にやろうよ。」と誘われました。

父の影響もあって、物心ついた頃から野球のボールが玩具でした。

毎週、日曜日には江戸川土手のグラウンドでチームメイトと練習に明け暮れていたのが懐か  
しく思い出されます。

所属した《アスナロ》はその当時、指導者にも恵まれレベルの高いチームで暫くはレギュ  
ラーの座が掴めずに試合にも出れず、悔しくて“朝練”にも参加して頑張った記憶が有りま  
す。《アスナロ》での3年間は楽しい記憶ばかりでしたが、そのなかでもとりわけ思い出され  
るのは、県大会での“ノーヒットノーラン”を達成した試合の事。あの時ほど、「野球は一人  
では出来ない」と痛感した時は有りませんでした。今でも、一緒に野球をやったチームメ  
イトにはとても感謝しています。

その後も、中学、高校、大学と指導者には大変恵まれました。

然し、高校に入学してからは控え投手でした。大学に入学する頃には、一時期「野球をや  
めて遊ぼうかな」とも考えました。

然し、大学に入学して特にすることも無く、少年野球に入部した時と、同様に友達に誘わ  
れるままに再び《野球》を始めていました。大学時代には、《最多勝利投手》・《最多奪三振》  
を何度か獲得しました。

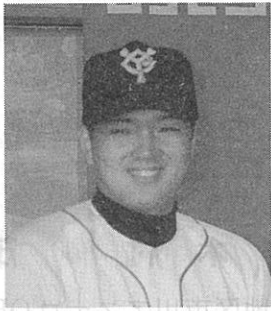
そしてプロ野球から声がかかり、現在【福岡ダイエーホークス】に入団でき、自分の夢が  
実現しました。

6月現在は、春先に傷めた足の怪我が未だ完治せず、ファームで調整中ですが、一日でも早  
く一軍で投げる日が来るように、日々努力しています。

一軍登板の日には、皆様応援をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、各関係者の方々、そして指導者の皆様には心から感謝して居ります。こ  
の場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今後も、野球界発展のためにも、少年野球が益々盛んになりますよう皆様のご活躍をご祈  
念いたします。



## 良き指導者にめぐり合えて

98年ドラフト4位 読売 巨人軍

投手 安原 政俊

(第7地区柏井フレンズOB)

市川市少年野球連盟の創設20周年おめでとうございます。

私と野球の出会いは、小学校2年の時に市内の少年野球チーム『柏井フレンズ』に入部したことから始まりました。

その頃からプロ野球選手になるのが夢でした。

『柏井フレンズ』時代、6年生最後の試合で負けた時の“悔しさ”は、今でも時折思い出されます。

『鎌ヶ谷シニア』を経て、『中央学院』へ進みました。

高校に入ってから、新チームになって最初の大会は1回戦敗退でした。その悔しさから練習終了後も、チームメイトと共に更に自主練習で励みました。練習に励んだ甲斐あって、夏季大会では千葉県ベスト4となりました。ベスト4とはなりましたが、あの時は優勝して《甲子園》に行きたい気持ちでした。

今、振り返ると良き指導者に恵まれてきたから、現在の自分があるのだと思います。『柏井フレンズ』を始め『鎌ヶ谷シニア』『中央学院』と指導者には怒られてばかりの記憶でしたが、それも総て自分のため、負けずに忍耐することを知りました。

チームメイトにも恵まれました。

野球は個人プレーではなく、チームプレーのゲームです。

チームメイトと全員で頑張った結果が、試合の答えとして表れます。

私がプロ野球選手になれたのも、良き指導者やチームメイトに恵まれたお陰だと、とても感謝しております。

大きな夢を持ち、それに向かって一生懸命努力をしていれば、必ずや夢は叶う。私はそう信じてきました。これからもそう信じて、新しい夢に向かって行きます。



平 岡 昭 彦

衆議院議員

田 中 甲

市川市少年野球連盟 20 周年誠におめでとうございます。

役員ひとりひとりの皆さんは、20 年の歴史の中で思い起こす様々な出来事があるか  
と思います。

その中でも、子供達に夢を与える全国大会への道づくりは特質すべきものでありましょ  
う。少年野球連盟と野球協会少年部の統合、それは、前高橋市長をはじめ両団体のご努力  
によるものと敬意を表し、思い返される点であります。野球を通じ協調性を養い、ルール  
を重んずる基本を身に付けた子供達がそれぞれの分野で努力し、活躍していることを思う  
と喜びもひとしおであります。

市川市教育委員会の理解と、読売新聞社をはじめ後援を頂くなか、更に充実した連盟の  
運営が行われることを心からご祈念申し上げ、合わせて、役員各位のご健勝とご活躍をご  
祈念申し上げご挨拶と致します。



## 出 市川市少年野球連盟 20 周年を祝して

衆議院議員 渡 辺 博 道

市川市少年野球連盟が昭和55年2月発足され、創立20周年を迎えられま  
したことを心からお祝い申し上げます。

「青少年健全育成」という大きな目標を掲げ、浮谷貞雄前会長、中川 実  
会長の下、幾多の問題をのり越え県下でも有数の水準を保持し、毎年大会で  
優秀な成績を残されるなど立派な今の連盟に成長されました事は監督、コーチを始め指導者の方々、ご  
父兄の皆様方の子供に対する温かい愛情と熱心なご指導ご支援の賜物と推察いたし、心より敬意を表  
する次第です。さぞかし20年という節目を迎えられ感激のことと思います。

我が国では、野球は昔から人々に親しまれ人気があり、またチームプレーを大切にものだけに青  
少年の健全育成にとって欠かすことのできないスポーツとなっております。そこにはフェアプレーの  
精神を始めとして社会生活を健全に営む上での基礎が凝縮されていると言っても過言ではありません。  
忘れ得ぬ思い出と数々のドラマの中、少年野球を通じて学んだ成果はきっと選手諸君の人生に大い役  
立っている事と思います。

青少年のいじめや犯罪の増加が問題になっている昨今、いかに正しい教育が大切かを考えされられ  
ます。私も国会で文教委員会に所属しており、この問題に真剣に取り組んでおりますがこれからの21  
世紀を担う青少年の健全育成にむけて最前の努力をいたします。

終わりに市川市少年野球連盟の益々の発展と今後の皆様方のご健勝ご活躍を祈念申し上げお祝いの  
言葉と致します。



# 祝 20 周 年

千葉県議会議員

金子 和 夫

市川市少年野球連盟が20周年を迎えるにあたり、皆様方と共に心からお慶び申し上げます。

少年野球連盟20年という永い歴史を持ち幾多の厳しい時代を乗り越え、今日に至っておることと存じます。この間の会長を始め役員の皆様方のご苦勞に対し深甚なる敬意を表する次第であります。今後も青少年の健全育成のため一層のご活躍を下さいますようお願い申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



# 私 の 想 い 出

千葉県議会議員 市川市少年野球連盟参与

小 島 武 久

「市川市少年野球連盟設立20周年」おめでとうございます。

昭和54年に市川市に誕生し、ここまで育てあげた、前浮谷会長を初めとする役員、審判部、父兄の皆様には心よりその労と努力に対し厚く感謝申し上げます。

少年野球で育った少年は、立派に成人され地域社会で活躍されています、今後も野球で培われた精神が少年に引き継がれ、益々連盟が発展される事を期待します。

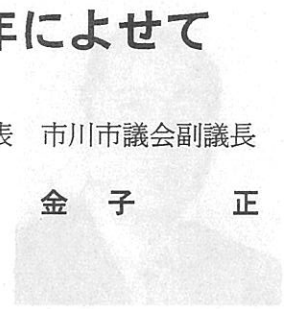




## 市川市少年野球連盟 20 周年によせて

市川南スパローズ代表 市川市議会副議長

金子 正



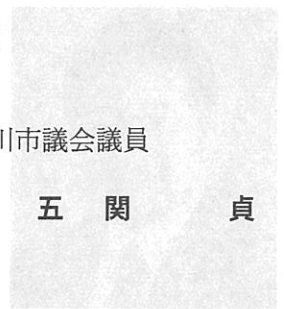
20周年心よりお祝い申し上げます。今から15年前、私の息子たちが市川南スパローズを立ち上げ、私が初代監督になりました。連盟加盟をお願いしたところ、「しっかり審査の上、是非をご通知します。」……毅然とした地区役員の姿が思い浮かびます。チーム数・選手層の厚さからも少年野球全盛の時代でした。我慢・頑張る・努力する……今子供達に大切な教育が欠如しています。小子社会を迎えチーム数の減少が危惧されますが、完全学校週5日制目前、連盟活動の充実、役割がますます重大です。指導者の皆様の子供達を思う情熱あるご活躍も心よりお祈り申し上げます。



## 輝く未来

市川市議会議員

五関 貞



市川市少年野球連盟結成二十周年おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。生まれたばかりの赤ちゃんが成人式を迎える、その様な長い年月を経て、ますます盛んに活躍されますことは、会長さんを始めとして、役員の方々の大変な御努力があったからこそと思います。野球をする子供達の顔ぶれは変わっても、野球を通して培われた、ひたむきに努力する姿勢や精神は子供達のこれからの長い人生の道標へとになっていく事と思います。青少年の心身の育成に人間形成の基礎作りに携わる大切な活動を誇りに三十周年へと続かれますようお願いしております。



## 記念誌発行を祝う

市川市議会議員

芝田 康雄

市川市少年野球連盟も歴史を積み重ね、早や20年の歳月が経過しようとしております。その20周年の節目にあたり記念誌の発刊を迎えられましたこと誠におめでとうございます。

常に子供達の目線に立って時には叱り、時には優しく、そして時には励まして接する監督さんの指導の元、子供達は、グラウンドで汗をかき、砂まみれになりながら一生懸命一個の白球を追う姿に感動を覚えます。

やがてはこの子供達はこの野球を通して規律を守り、郷土を愛し、両親を愛し、友達を思いやる気持ちを抱き、又時には悔し涙を流し、喜びに感激し、やがて社会の荒波に立ち向かう勇気を身につけて行くことでしょう。

この連盟は、役員の皆様は元より、市川市、各新聞社の御理解をいただき更なる発展に結びつくものと確信をしております。

最後に皆様方の御健勝と御活躍をお祈り申し上げまして、私の御挨拶と致します。



## 来 未 > 献

市川市議会議員

松本 こうじ

市川市少年野球連盟創立20周年を心からお祝い申し上げます。

21世紀まであと500日弱となりました今、社会が大きく変化している中で「心の豊さ」が強く求められております。こうした中で、次代を担う青少年の健全育成を目的としての連盟の活動は子どもにとって心身のバランスの取れた人間形成に大きな体験となる有意義なものと思われれます。青少年の人生には無限なる希望の未来があります。野球を通してさらに最高度の精神力を養い、一社会人とどまることなく国際人としてもあらゆる分野において活躍しうる自分を育てあげて行って欲しいものと願っております。最後に市川市少年野球連盟の益々のご発展をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



## 少年野球

市川市議会議員

峯崎 太一

市川市少年野球連盟20周年おめでとうございます。

私も今から30年前は近くの神社や空き地で、日が暮れて母親が迎えに来るまで、友達と野球をして遊ぶ少年時代を過ごしていました。10歳の頃にはじめて野球チームに入り、練習や試合を通じて仲間や友達が増え、そして野球を通じて競争心や団結心を同時に学んだことが、今の自分を作っていくうえで非常に大切であったと思っています。試合の勝敗だけではなく、その他の多くのことも学んでほしいと思います。また20年間、市川市少年野球連盟で多くの皆様が裏方に徹し、ご尽力されたことに心から敬意を表します。そして、これからも30年50年と益々、市川市少年野球連盟が発展していくことを祈念いたします。



## 祝 市川市少年野球連盟創設20周年

市川市議会議員 南行徳ホークス代表

三宮 美道

市川市少年野球連盟創設20周年心からお祝い申し上げます。

野球を通しての青少年の健全育成に、中川会長をはじめとする役員の皆様のご尽力に対し、敬意を表する次第です。

私は、白球を追いかける子供たちの真剣な目が大好きです。そして、汚れのない子供たちの成長のため精一杯の努力を行ってまいりたいと思います。ますますのご発展をご祈念申し上げます。



## 祝 市川市少年野球連盟 20周年記念

前衆議院議員

狩 野 勝

市川市少年野球連盟が創立20周年を迎えましたこと、心からお祝い申し上げます。  
日頃は、青少年の健全育成のもと、少年野球連盟の運営並びにご指導くださる皆様方に敬意と感謝を申し上げます。

戦後、物質的繁栄に比して精神的欠如が指摘され、とりわけ青少年の健全育成は大きな課題であります。

そういう中で少年野球を通じて撥刺とした子どもたちの育成にご尽力された20年の歩みに、心から拍手をおくりたいと思います。

連盟の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念しごあいさつと致します。



## 市川市少年野球連盟 祝

市川市会長 南 敬

ベルカップ杯顧問

鈴 木 衛

市川市少年野球連盟が、創立20周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴連盟は、昭和55年2月に発足され、今日まで少年野球を通して、スポーツ精神の普及等による、小・中学生の健全育成にご尽力され、20年間発展を続けられました。その間、初代浮谷会長や現在の中川会長をはじめ連盟の皆様方や関係各位の努力によって当市の少年野球の発展に寄与されましたことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

今後一層のご発展とご活躍を祈念申し上げます。